

18. 熊本大学教育学部附属幼稚園改善計画書

領域	改善計画 (H27. 3. 31現在)	改善状況① (H27. 12. 1現在)	改善状況② (H28. 12. 1現在)
その他 (教育研究支援)	(法人評価までに改善する計画) 幼小接続を視野に入れて、年間保育計画を見直し、アプローチカリキュラムを作成する。	幼小接続を円滑に進めるために、H27. 12月分までの年間保育計画を見直し、H28. 3月までに、アプローチカリキュラムを作成することを決定した。	幼小の円滑な接続を進めるために、教育課程(時に年長児の9月～3月)の見直しに取り組み、H28年3月までにアプローチカリキュラムを作成することができ、計画を達成した。H28年度は、その検証を行い、加筆・修正したアプローチカリキュラムをH29年11月の公開保育研までに作成する。
	(2年間で改善する計画) 幼小合同の研修会をもち、小学校のスタートカリキュラムを作成する。	H28. 2月に、幼小合同の研修会をもち、小学校のスタートカリキュラムを作成について検討することを職員会議で決定した。	H28年3月に作成したアプローチカリキュラムを小学校へ提起した。4月の熊本地震の影響により、幼小合同の研修会が開催できなかったため、小学校のスタートカリキュラムの作成については次年度の課題となる。H29年度の年間計画に幼小合同の研修会を位置づける。
	(次の組織評価までに改善する計画) 幼小の接続期における先導的連携カリキュラムに基づき、実践した検証結果を公開研究会にて発表する。	週案月案等短期の指導計画と、実際の年長児の育ちを比べながら、アプローチカリキュラムについて検証結果をまとめている途中である。年度内にまとめあげ、平成28年度は出来上がった新しいアプローチカリキュラムをスタートさせる。	4月の熊本地震のため、H28年度は公開保育研究会の開催を見送ったが、規模を小さくしてH29年2月に保育研究協議会として開催する。そこでは、検証中の教育課程やアプローチカリキュラムについて情報提供する。なお、H29年11月の公開保育研究会では、改訂した教育課程とアプローチカリキュラムを公表する。
その他 (初等中等教育)	(法人評価までに改善する計画) 子ども子育て支援法に則り、子育て支援のための教育相談体制を確立し、月1回の在園児の預かり保育を試行する。	父母の会の時の預かり保育を毎回実施している。附属間の行事やPTA研修会時の預かりも必要時実施しており。昨年度2回の試行を経て、本年度は年間10回実施の予定である。	子育て支援のための相談体制については、附属教育実践総合センターの浦野エイミ臨床心理士(シニア教授)と連携し、不定期だが相談の機会を作っている。預かり保育については、H28年度は、園行事等の役員等の子どもの預かりを含めると、11月までに8回実施した。H29年3月までにあと3回計画している。
	(2年間で改善する計画) 家庭のニーズに応じた在園児の預かり保育を実施し、保育時間の延長や園庭開放を実施する。	今年度から保育時間を20分延長した。また、夏休みの園庭開放を在園児だけでなく地域の未就園児にも開放した。来年度に向けて、3学期は、保育時間の延長も検討中である。	H28年度においても保育時間の20分延長を継続している。年長児については、H27年度の3学期には更に30分の延長保育を実施した。H28年度においても実施する。また、夏休みの園庭開放は在園児及び地域の未就園児に開放した。
	(次の組織評価までに改善する計画) 保護者のみならず、地域社会に対しても、子育てに関する相談活動や子育てトーク等の子育て支援活動を実施する。	地域に対して、夏休みの園庭開放を実施した。利用者はのべ185人であり大変好評であった。3学期は、未就園児体験登園時に子育てに関する相談活動を設ける予定である。	地域への夏休みの園庭開放は、H28年度は263人の利用があり、そのうち未就園児の利用は91人であった。未就園児の体験登園もH28年度は毎月実施あり、月に40人ほどが来園している。未就園児の子育てに関する相談体制づくりはH29年度の検討課題である。
その他 (男女共同参画)	(法人評価までに改善する計画) 職員・保護者に対し、ワークライフバランスの実現に向けた研修会を実施する。	職員、保護者に対し、「男女共同参画社会の実現について」、教育学部八幡教授によるワークライフバランスの研修会を実施した。参加率100%であった。	熊本地震の影響と創立100周年行事の準備を優先したことにより、H28年度は研修会の計画ができなかった。H29年度の研修計画に位置づける。
	(2年間で改善する計画) 男性の教職員雇用を促進することにより、職場における男女共同参画社会を実現する。	教職員採用の時に男女共同参画の積極的実施の周知を継続している。	引き続き、教職員採用時における男女共同参画の積極的実施の周知を行っている。
	(次の組織評価までに改善する計画) PTA研修活動「パパママほっとタイム」等の充実を図る。	H27年度の「パパママほっとタイム」は、母親のみの参加であった。父親の参加を0%から20%増やすことを目標とし、内容や時間帯の見直しを図るようPTA役員会にて決定した。次年度は預かり保育を充実させ、父親母親ともにより参加しやすい研修会の実施を検討している。	「パパママほっとタイム」の見直しを図った結果、父親の参加が4名あった。開催時間の午前については今後も検討していく。本園には「おやじの会」が組織されており、園行事等に協力が得られている。また、H28年度の土曜日や日曜日に計画した行事への父親の参加率は高く、90%に達することもあった。
管理運営	(法人評価までに改善する計画) 園経営方針や施設・教育内容の紹介をホームページに掲載する。	園長挨拶、園経営方針、新園舎の施設や設備の紹介を掲載した。新入園児入園説明会において、45%がHPを閲覧し、56%が教育方針に共感賛同しており、HP充実について一定の成果がみられる。	H28年度も引き続き、園長挨拶、園経営方針、教育内容等をホームページに掲載している。H29年度入園願書提出者の90%がホームページを閲覧していた。H29年度は、ホームページの定期的な更新を行う。
	(2年間で改善する計画) 学校評価アンケートの結果や教育学部附属学校連絡協議会の助言を受けて改善を図った点等、ホームページにおいても情報公開を行う。	12月に実施する学校評価アンケートの結果を平成28年2月までにHPに掲載する予定である。情報公開については、全保護者に連絡し周知を図ることを決定した検討している。	H27年度の学校評価の結果について、紙ベースでの公表に留まり、ホームページへ掲載するまでには至らなかった。H28年度は、H29年3月までにホームページで公表する。
	(次の組織評価までに改善する計画) 園運営・研究活動について、外部評価(第三者評価)を実施し、情報公開を行う。	H28年度中に外部評価の組織作りを行うことを決定した。	熊本地震の影響と創立100周年行事の準備を優先したことにより、H28年度は外部評価の組織作りに着手できなかった。H29年度は、外部評価の在り方について検討する。